

1. 博物館の運営（令和3年度）

1) 運営・組織

■ 基本情報

名称：士別市立博物館
併設：士別市公会堂展示館
所在地：士別市西士別町2554番地
休館日：月曜日・火曜日、年末年始
冬期間の一部（1/20～2月末の平日）
開館時間：9：30～16：30（4～9月）
10：00～16：30（10～3月）
入館料：高校生以上100円、中学生以下無料
※団体（20名以上）80円
所管：士別市教育委員会（生涯学習部 博物館）

■ 職員体制

館長：大留 義幸
参与：水田 一彦（学芸員、再任用）
主任主事：本部 哲矢（学芸員）
主事：中村 圭佑（学芸員）
会計年度任用職員：田盛 可那恵（学芸員）

■ 士別市立博物館協議会

会長：大谷 優子
副会長：菅原 隆弘
委員：伊藤 恵子
委員：今田 庄一郎
委員：尾中 康裕
委員：小林 英雄
委員：佐藤 春江
委員：谷川 知範
委員：前田 久美子
委員：渡辺 恵子

※2年任期

■ 士別市立博物館特別学芸員

五十嵐 紀子：文化史
石井 彰洋：地学（地質）
岡本 研：地学（地質）
斉藤 正勝：生物学（菌類）
崎原 敬子：美術
立花 卓磨：物理
平松 和彦：地学（地質・雪氷・地形）
廣田 健治：美術・生物学（昆虫）

堀江 健二：生物学（植物）
義光 康弘：文化史（地理・歴史）
※2年任期。崎原氏は10月1日から。

■ 士別市立博物館ボランティア友の会

会員数 27名（令和4年3月時点）
（会長：前田久美子氏、事務局：博物館）

2) 施設面積

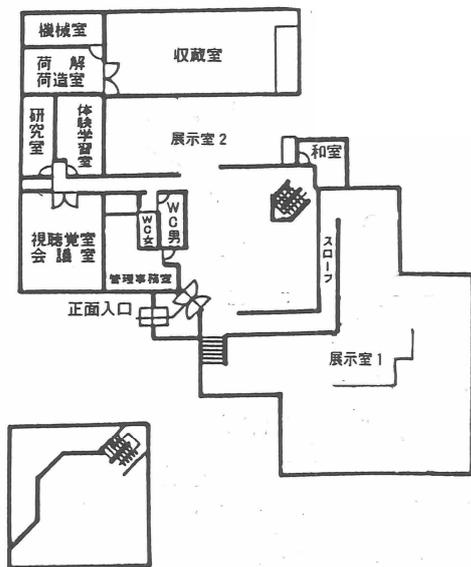
■ 士別市立博物館

・敷地面積	3,091.20 m ²
・建物概要 鉄筋コンクリート一部鉄骨2階建	
建設床面積1階	995.39 m ²
2階	105.12 m ²
合計床面積	1,100.51 m ²
・主要各室床面積	
1階常設展示室	612.87 m ²
2階常設展示室	93.27 m ²
体験学習室	27.87 m ²
収蔵庫	117.69 m ²
休憩室（和室）	10.88 m ²
視聴覚室	58.05 m ²
研究室	19.68 m ²
管理事務室	33.72 m ²
機械室	23.07 m ²
映写室	11.86 m ²
・その他	91.55 m ²

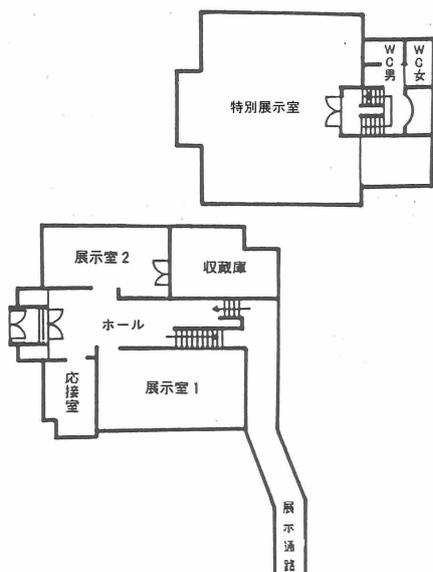
■ 士別市公会堂展示館

・敷地面積	1859.29 m ²
・建物の概要 鉄筋コンクリート2階建	
建設床面積1階	352.86 m ²
2階	234.59 m ²
合計床面積	587.45 m ²
・主要各室床面積	
第1展示室	69.45 m ²
第2展示室	47.28 m ²
特別展示室	166.90 m ²
ホール	73.02 m ²
展示通路	87.62 m ²
応接室	20.74 m ²
収蔵庫	39.74 m ²

倉庫	21.84 m ²
・その他	60.86 m ²



▲ 士別市立博物館平面図



▲ 士別市公会堂展示館平面図

3) 常設展示の概要

当館は、地域の総合博物館として、士別の「歴史・自然・文化芸術」を扱っている。昭和56(1981)年に「士別開拓80周年記念事業」の一環で建てられ、平成元(1989)年には、議場として使われていた公会堂を展示館として博物館の隣に復元し、文化芸術の展示を充実させた。平成23(2011)年には、常設展示の一部リニューアルを実施した。

■ 歴史展示

歴史の展示では、縄文時代から現在に至るまでの士別の歴史について紹介している。

北海道の先住民族であるアイヌ民族や、最北で最後の屯田兵に関する展示、また士別の産業や生活の移り変わりなどを知ることができる資料を数多く展示している。



■ 自然史展示

水と緑が豊かな士別で見られる自然について紹介している。多数の実物標本を展示し、天塩川上流域の自然や士別周辺地域の大地の成り立ち、北国に暮らす動植物について紹介する内容となっている。

令和3年度は、同年に開催した特別展の成果を活用し、地質展示の内容を一部更新した。



■ 文化・芸術展示

公会堂展示館では、士別ゆかりの芸術作品を展示している。士別出身の彫刻家阿部晃工氏、版画家の小池暢子氏、そのほかに郷土の芸術家の絵画や彫刻を鑑賞することができる。

また、女優で冒険家の和泉雅子氏のコレクション、士別で幼少期を過ごした元プロボクサーの輪島功一氏のベルトやトロフィーなども展示している。

4) 利用状況

令和3年度の博物館利用者数は、合計3,397人となった。近年の利用者数の動向として過去5年間（平成28～令和2年）の平均6,552人と比べると、大きく減少しているものの、令和2年度の2,826人と比べ

ると、やや回復している。休館日の変更による利用者数への影響については、新型コロナウイルス感染症や消火設備工事による休館もあったため、令和3年度の利用状況からは、見出すことはできなかった。

表. 令和3年度 博物館利用者集計表（月別）

月	個人入館			団体入館			イベント			計	開館 日数
	一般		子ども	一般		子ども	講座	出前	その他		
	(有料)	(無料)	(無料)	(有料)	(無料)	(無料)					
4	0	43	7	0	0	0	0	0	80	130	0
5	0	67	20	0	0	0	12	0	560	659	0
6	0	49	2	0	0	0	14	21	0	86	0
7	150	55	38	0	0	0	43	191	0	477	21
8	216	58	56	0	0	0	41	151	0	522	20
9	21	58	5	0	0	0	0	0	0	84	11
10	167	54	36	23	0	0	7	66	0	353	23
11	118	31	30	0	0	0	7	161	0	347	21
12	58	19	24	0	0	0	25	0	0	126	20
1	26	47	13	0	0	0	47	73	0	206	16
2	37	64	31	0	0	62	13	0	0	207	10
3	71	62	34	0	0	0	0	33	0	200	23
計	864	607	296	23	0	62	209	696	640	3,397	165

5) その他

■ 博物館の臨時休館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2度の臨時休館を行った。また、令和2年度に発生した消火設備の不具合により、安全面から工事完了まで館内の展示見学の受入を休止した。

- ・前年度～令和3年7月2日（金）
消火設備不具合により展示見学休止
- ・5月19日（水）～6月20日（日）
緊急事態宣言発令により臨時休館
※7月3日（土）より通常開館
- ・8月28日（土）～9月16日（木）
緊急事態宣言発令により臨時休館
- ・9月17日（金）～9月30日（木）
限定開館（市民のみ見学可）
※10月1日（金）より通常開館

■ 休館日の変更

社会教育施設における管理・運営のあり方について、令和2年度から博物館の運営方法について検討を行い、博物館の休館日を令和3年4月から次のとおり変更した。

新	旧
月曜日・火曜日	月曜日 (月曜日が祝日の場合は、翌日も休館)
※年末年始を除いて、祝日は開館	国民の祝日
変更なし	年末年始
冬期間の一部休館 (1月20日～2月末の平日) ※期間中の土日祝は開館	

6) 博物館各種文書様式

様式第1号(第7条関係)

入館承認申請書

次のとおり土別市立博物館の入館を申請します。

年 月 日

土別市立博物館長 様 申請者 住所
学校又は団体名
代表者名

入館目的

入館日時 年 月 日
午前 時から 時まで
午後 時から 時まで

入館人員 人

入館責任者 氏名

入館料 円

その他

▲ 様式第1号 (第7条関係)

様式第3号(第10条関係)

入館料減免申請書

入館日時	年 月 日 午前、午後 時 分から 午前、午後 時 分まで			
入館人数	高校生以上	人	子ども	人
規定入館料	円	減免率	減免申請額	差引納付額
		割	円	円
減免申請理由				

上記の理由により土別市立博物館入館料の減免を受けたいので申請いたします。

年 月 日

土別市立博物館長 様

申請者 住所
学校又は団体名
代表者名 ㊟

▲ 様式第3号 (第10条関係)

様式第2号(第8条関係)

入館承認書

年 月 日申請のあった土別市立博物館入館のことに、次のとおり承認する。

年 月 日

様 土別市立博物館長 ㊟

入館目的

入館日時 年 月 日
午前 時から 時まで
午後 時から 時まで

入館人員 人

入館責任者 氏名

入館料 円

その他

▲ 様式第2号 (第8条関係)

様式第4号(第10条関係)

入館料減免承認書

入館日時	年 月 日 午前、午後 時 分から 午前、午後 時 分まで			
入館人数	一般(高校生以下)	名	小・中学生	名
規定入館料	円	減免率	減免申請額	差引納付額
		割	円	円
減免申請理由				

年 月 日申請のあった土別市立博物館入館料減免のことに、承認する。

年 月 日

申請者 住所
学校又は団体名
代表者名 様

土別市立博物館長 ㊟

▲ 様式第4号 (第10条関係)

2. 博物館活動（令和3年度）

1) 教育普及活動

■ 特別展示

令和3年度は、特別企画展と企画展を合わせて4回開催した。その他、巡回展示や季節の行事に合わせた展示を各種開催した。

特別企画展「士別市立博物館 開館40周年記念展」

期間：令和3年7月29日～11月3日

会場：公会堂展示館特別展示室

内容：開館からの歴史を特別企画展ポスターや活動映像などで紹介し、博物館の40年の取り組みを振り返った。

企画展「萩田紀之 切り絵作品展」

期間：令和3年4月29日～5月16日

会場：生涯学習情報センター地階市民ギャラリー

内容：士別ゆかりの切り絵作家 萩田紀之氏の作品全22点を展示した。一部作品は市役所庁舎1階市民テラスで出張展示した。

企画展「イチオシ！士別の岩石3選」

期間：令和3年9月18日～11月7日

会場：博物館エントランス

内容：士別市の代表的な岩石3種類を紹介。あわせて巡検動画を作成、公開した。

企画展「生活と刃物」

期間：令和3年11月20～1月30

会場：公会堂展示館特別展示室

内容：士別ゆかりのものを含め、生活に欠かせない刃物の歴史を、実物やパネルで紹介した。

道北地区巡回展「探してみよう！地域のお宝」

期間：令和3年7月24日～8月22日

会場：博物館エントランス

内容：北海道博物館の学芸員が朝日町や名寄市智恵文・日進地区をモデル地に開発した高齢者地域学習コンテンツを紹介した。

※巡回地：士別市、名寄市、美深町、美瑛町

「桃の節句～ひな人形展～」

期間：令和4年2月5日～3月6日

会場：博物館エントランス

内容：当館所蔵品や愛知県みよし市借用のひな人形を展示し、歴史や地域による違いを紹介した。

巡回展「タマ・アンプリメ」

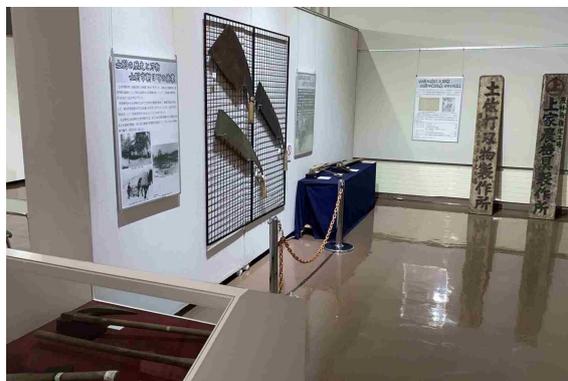
期間：通年（年2回展示作品入替）

会場：公会堂展示館連絡通路

内容：多摩美術大学版画研究室の版画の巡回作品を展示した。



▲ イチオシ！士別の岩石3選



▲ 生活と刃物



▲ 探してみよう！地域のお宝

■ 講座

観察会や講演、体験講座など、様々なイベントの開催を通して、地域の歴史や自然、文化の普及に取り組んだ。また、市教委が実施する、子ども対象の通年体験講座「しべつ土曜こども文化村」の一環で、「ふるさと自然歴史体験館」を開催した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となった講座はあるものの、計19回の講座を開催した。

GW企画「しべつクイズラリー」

日程：令和3年4月29日～5月5日
 会場：市内各所
 参加：35名
 内容：市内の歴史や自然、文化に関するクイズラリーを実施した。



「春の自然観察会①」

日程：令和3年5月4日
 会場：グリーンスポーツ
 講師：本部哲矢（当館学芸員）
 参加：12名
 内容：博物館の裏山で、野鳥などを観察した。



「春の自然観察会②」

日程：令和3年5月4日
 講師：本部哲矢（当館学芸員）
 →新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館①

「石器づくり体験」
 日程：令和3年6月27日
 会場：博物館視聴覚室、車庫
 講師：中村圭佑（当館学芸員）
 参加：14名
 内容：市内に残る縄文時代の歴史の学習や遺跡等から出土される石器づくりを体験した。

「夏の自然観察会」

日程：令和3年7月10日
 会場：グリーンスポーツ
 講師：本部哲矢（当館学芸員）
 参加：8名
 内容：博物館の裏山で、植物を中心に夏の自然を観察した。

土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館②

「川の生き物さがし」
 日程：令和3年7月22日
 会場：天塩川水郷緑地
 講師：(株) 福田水文センター
 参加：18名
 内容：天塩川の生き物さがしや水質しらべなどを体験した。



考古学体験講座「勾玉づくり体験」

日程：令和3年7月31日
 会場：市民文化センター研修室
 講師：中村圭佑（当館学芸員）

参加：17名

内容：勾玉づくり体験を通じて、土別に残る縄文時代の歴史や日本の歴史について学んだ。

「比べる視点で地域映像を愉しむサロン」

日程：令和3年8月7日

会場：市民文化センター研修室

講師：山下俊介氏（北海道大学 特任助教授）

参加：12名

内容：地域の歴史に関する映像を上映し、サロン形式で参加者とのフリートークを実施した。
※道北地区巡回展関連講座



土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館③

「昆虫採集」

日程：令和3年8月8日

会場：グリーンスポーツ

講師：廣田健治氏（当館特別学芸員）

本部哲矢（当館学芸員）

参加：18名

内容：昆虫採集を実施し、地域に生息する身近な昆虫について学んだ。



土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館④

「土別まちなか探検」

日程：令和3年8月21日

会場：市内各所

講師：中村圭佑（当館学芸員）

参加：11名

内容：昔の写真と現在の様子とを見比べながら土別市内を探検した。



「秋の自然観察会」

日程：令和3年9月5日

講師：斉藤正勝氏（当館特別学芸員）

→新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

「土別歴史探訪」

日程：令和3年9月25日

講師：義光康弘氏（当館特別学芸員）

内容：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としたが、代替の普及活動として、見学地を紹介する動画を作成、公開した。

「古文書教室(全5回)」

日程：令和3年10月23日、11月27日、
12月19日、令和4年1月30日

※9月18日は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

会場：市民文化センター視聴覚室

講師：中村圭佑（当館学芸員）

参加：延べ25名

内容：博物館所蔵の古文書を読み、土別の歴史をひもといた。

「昔の手仕事」

日程：令和3年12月4日

会場：生涯学習情報センター工房2

講師：五十嵐紀子氏（当館特別学芸員）

参加：5名

内容：稲わらを用いた鍋敷きを製作した。



土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館⑤

「科学工作体験」

日程：令和3年12月5日
 会場：市民文化センター研修室
 講師：立花卓磨氏（当館特別学芸員）
 参加：15名
 内容：水蒸気を利用して水上を進む「ポンポン船」づくりを体験した。



「士別サイエンスフェスティバル」

日程：令和4年1月10日
 会場：市民文化センター研修室
 講師：特別学芸員、ボランティア友の会、学芸員
 参加：42名
 内容：科学や自然、ものづくりに関するブースを出展する小規模なリアル開催と、動画公開を実施した（1月5日～4月6日）。

土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館⑥

「雪と氷の実験」

日程：令和4年1月29日
 講師：平松和彦氏（当館特別学芸員）
 →新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

「冬の自然観察会①&②」

日程：令和4年2月11日、2月23日
 会場：グリーンスポーツ
 講師：本部哲矢（当館学芸員）
 参加：延べ13名
 内容：博物館裏山をスノーシューで散策し、冬の自然を観察した。

■ 出前/依頼講座

博物館の利用機会や市民の学習機会の充実のため、学校や各種団体からの依頼により学芸員が市内各所に出向き、地域の歴史や自然に関する学習を支援する出前講座を実施した。

日程	名称	人数
6月23日	士別小学校科学クラブ 「バードコールづくり」	21
7月5日	上士別中学校「地域学習」	9
7月12日	士別小学校科学クラブ 「昆虫標本づくり」	20
7月14日	士別南小学校4年理科「季節と生き物～春と夏の野鳥」	58
7月15日	士別小学校4年理科「季節と生き物～春と夏の野鳥」	53
7月29日	チャレンジ寺子屋「川の生き物さがし・化石発掘体験」	51
8月8日	士別トランポリン協会 「昆虫採集」	14
8月12日	上士別公民館 「川のいきものさがし」	11
8月27日	士別南小学校6年理科 「地層の学習」	60
8月27日	士別小学校6年理科 「地層の学習」	65
10月21日	士別小学校4年生「ふるさと教育 アイス文化について」	46
10月25日	士別小学校科学クラブ 「雪と氷のミニ実験」	20
11月5日	士別南小学校4年理科「季節と生き物～秋と冬の野鳥」	64
11月8日	学び舎つくも「映像で見るしべつの歴史」	39
11月10日	士別小学校4年理科「季節と生き物～秋と冬の野鳥」	54
1月11日	学び舎つくも「士別の自然」	44
1月14日	チャレンジ寺子屋 「むかしの国語」	29
3月9日	多寄小学校「日向神代神楽」	33



▲ 上士別中学校出前講座

■ 見学/研修/視察等の受入

日程	団体名	人数
10月9日	桜丘老人クラブ	23
11月4日	士別市役所 (新規採用職員研修)	4
12月10日	多寄小学校・温根別小学校 (合同社会科見学)	11
2月16日	士別小学校 3-1 (社会科見学)	24
2月17日	士別小学校 3-2 (社会科見学)	20
2月18日	士別南小学校 3 学年 (社会科見学)	47
3月3日	上士別小学校 (社会科見学)	10



▲ 士別南小学校社会科見学

■ 広報活動・情報発信

〈発行物〉 ※各イベントの広報物は除く

- ・令和3年度 年間カレンダー
- ・士別市立博物館報告 第39号
- ・博物館来館周知ポスター

〈動画作成〉

- ・動画で楽しむ 地質めぐり (10月公開開始)
協力：岡本研氏 (当館特別学芸員)

- ・士別歴史探訪 (1月公開開始)
協力：義光康弘氏 (当館特別学芸員)

〈その他広報活動〉

- ・北海道デジタルミュージアムの参加
(主催：北海道)



▲ 博物館来館周知ポスター

■ その他

- ・テッシ武四郎カードの配付
(主催：テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会)
- ・北海道先人カードの配布
(主催：北海道)
- ・食と観光周遊スタンプラリーの参加
(主催：士別・和寒・剣淵・幌加内着地型観光推進協議会)
- ・自然観察道具貸出
- ・音声ガイドペン貸出
- ・40周年記念グッズ配布
※クイズラリー参加者およびアンケート回答者を対象
- ・スノーシュー貸出
(連携：(一財)士別市スポーツ協会)



▲ 40周年記念グッズ

2) 資料の収集・整理・保存

■ 資料の収集（寄贈）

当館の資料収集は市民の方からの寄贈によるものが大部分を占め、令和3年度は22件、342点の寄贈を受けた。

・将棋駒	3点
・剥製	1点
・窓鋸	2点
・天王寺鋸	2点
・斧	5点
・ナタ	2点
・トビ	1点
・草刈り鎌	3点
・樹皮はぎ	1点
・米秤	1点
・せんべい焼き器	2点
・炭火アイロン	1点
・医療用天秤	1点
・医療用顕微鏡	1点
・血圧計	1点
・聴診器	1点
・シンガー製ミシン	1点
・石器	2点
・珪化木	1点
・古銭（明治～大正）	348点
・ひな人形掛け軸	1点
・ひな人形（大正）	1点

■ 資料の整理・保存

博物館の収蔵資料について、様々な利用者の問い合わせに対応できるよう、登録状況の確認を随時行った。また、文献資料について、利用等による劣化を防ぎ、今後の利活用に資するために、デジタル化を進めた。



▲ 歴史資料の整理作業

■ 資料等の貸し出し

他館での展示利用や、市内学校での授業用教材として、博物館資料の貸し出しを行った。

貸出先	内容	数量
石狩市いしかり砂丘の風資料館	鮭のテシ（築）漁写真	1
名寄農業開発事業所	稲刈りのはさかけ写真	1
士別南小学校	参考図書	11
温根別公民館	釣り竿	6
名寄市北国博物館	コアカゲラ剥製	1
	オオアカゲラ剥製	1
	アカゲラ骨格標本	1
すみだ郷土文化資料館	チャンピオンベルト（画像提供）	1

3) 調査/研究活動

■ 博物館所蔵資料の調査・研究

調査主体：中村圭佑（当館学芸員）

実施日程：随時

調査場所：博物館収蔵庫

内 容：博物館が収蔵する厚刃物（林業用刃物）に関する調査・研究を行い、企画展で成果を紹介した。

■ 伝統芸能の伝承と保存

調査主体：中村圭佑（当館学芸員）

実施日程：随時

調査場所：市内多寄町

内 容：日向神代神楽についてのルーツや歴史の調査、また演舞の記録映像の撮影を行った。

■ ウチダザリガニの生息調査

調査主体：本部哲矢（当館学芸員）

※協力：トヨタ自動車(株)士別試験場

実施日程：9月

調査場所：市内温根別町

内 容：ウチダザリガニ（特定外来生物）の目撃情報が寄せられた場所を探索し、新たな生息エリアの確認を行った。

■ 地質巡検調査

調査主体：岡本研氏（当館特別学芸員）、水田一彦、本部哲矢（当館学芸員）

実施日程：8～9月

調査場所：市内上士別町、温根別町

内 容：特別展開催に向けて、石灰岩、かんらん岩、リヒター閃石岩の産地を巡検し、展示用サンプルや動画素材を収集した。



■ 市内鳥類相調査

調査主体：本部哲矢（当館学芸員）

実施日程：随時

調査場所：市内多寄町ほか

内 容：三日月湖などの水辺で見られる水鳥の飛来状況を確認した。

■ 執筆活動

- ・本部哲矢「探してみよう 夏の鳥たち」道北日報、2021年7月14日付
- ・水田一彦「博物館40年の歩み 歴史と文化の継承」道北日報、2022年1月1日付
- ・水田一彦「博物館とともに歩んできた40年」士別市立博物館報告 第39号、2022年3月発行
- ・中村圭佑「士別市多寄町旧日向農場関係史料「日記」」士別市立博物館報告 第39号、2022年3月発行
- ・本部哲矢「北海道士別市で発見されたチョウセンカマキリの収集記録」士別市立博物館報告 第39号、2022年3月発行

■ その他館外活動

- ・(一社)学術資源リポジトリ協議会・学会報告（中村）
- ・環境に係る情報協議会非常任委員（本部）
- ・道北地区博物館等連絡協議会副会長（大留）
- ・北海道博物館協会理事（大留）

4) 各種団体との連携

■ 士別市立博物館ボランティア友の会

博物館の講座補助や資料整理、研究・調査などの協力をいただいた。令和3年度から、会員との情報共有を円滑にするため、メーリングリスト（google group）を試験的に導入した。

日程	活動名	人数
6～12月 (4回)	土曜子ども文化村ふるさと 自然歴史体験館 指導補助	延べ 7
1月10日	講座「士別サイエンスフェス ティバル」出展協力	2



▲ サイエンスフェスティバルにおける出展協力

■ 士別市郷土研究会

- ・屯田兵屋の清掃（年2回）

※その他、博物館の各種講座や特別展について、会員に周知し、参加・来場を呼びかけた。

